

鳴瀬川の維持管理について (直轄管理区間)

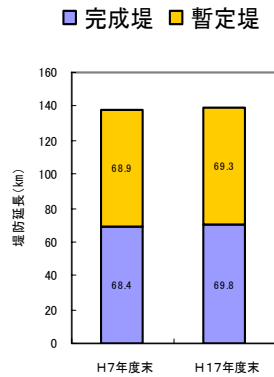
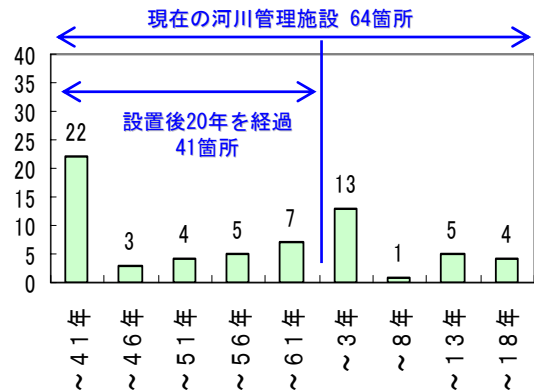
- I. 現状と課題
- II. 維持管理の基本的な方針

平成18年12月26日

国土交通省 東北地方整備局

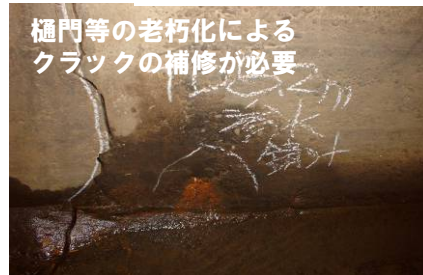
◆ 河川管理施設の適切な維持管理【ハード】

- ・ 設置後20年を経過した施設が約6割を占めるため、老朽化度合に配慮した効率的な機能点検が必要
- ・ 宮城県沖地震に備えた施設対策が必要
- ・ 堤防植生の適正かつ効率的な管理の確立が急務



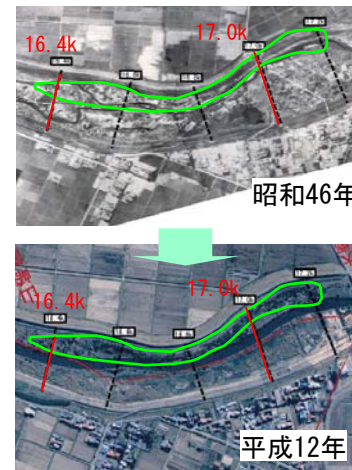
<樋門等の設置箇所数(5年毎)>

<堤防整備延長>



◆ 河道の維持管理【ハード】

- ・ 河道内の樹林地の拡大箇所等において、流下能力維持ため、適正な河道断面の確保が必要
- ・ 河床、河岸の洗堀から河川管理施設の防護が必要



河道内樹林地の拡大



護岸の崩壊状況

◆ 危機管理体制【ソフト】

- ・ 発生確率99%の宮城県沖地震、津波対策への対応
- ・ 地域住民や地方自治体への情報提供や避難行動支援
- ・ 配備した排水機場・排水ポンプ車の適切な操作
- ・ 水質事故等への迅速な対応

排水機場：6箇所



鈴根五郎排水機場(大崎市)

排水ポンプ車：3台(水系内)

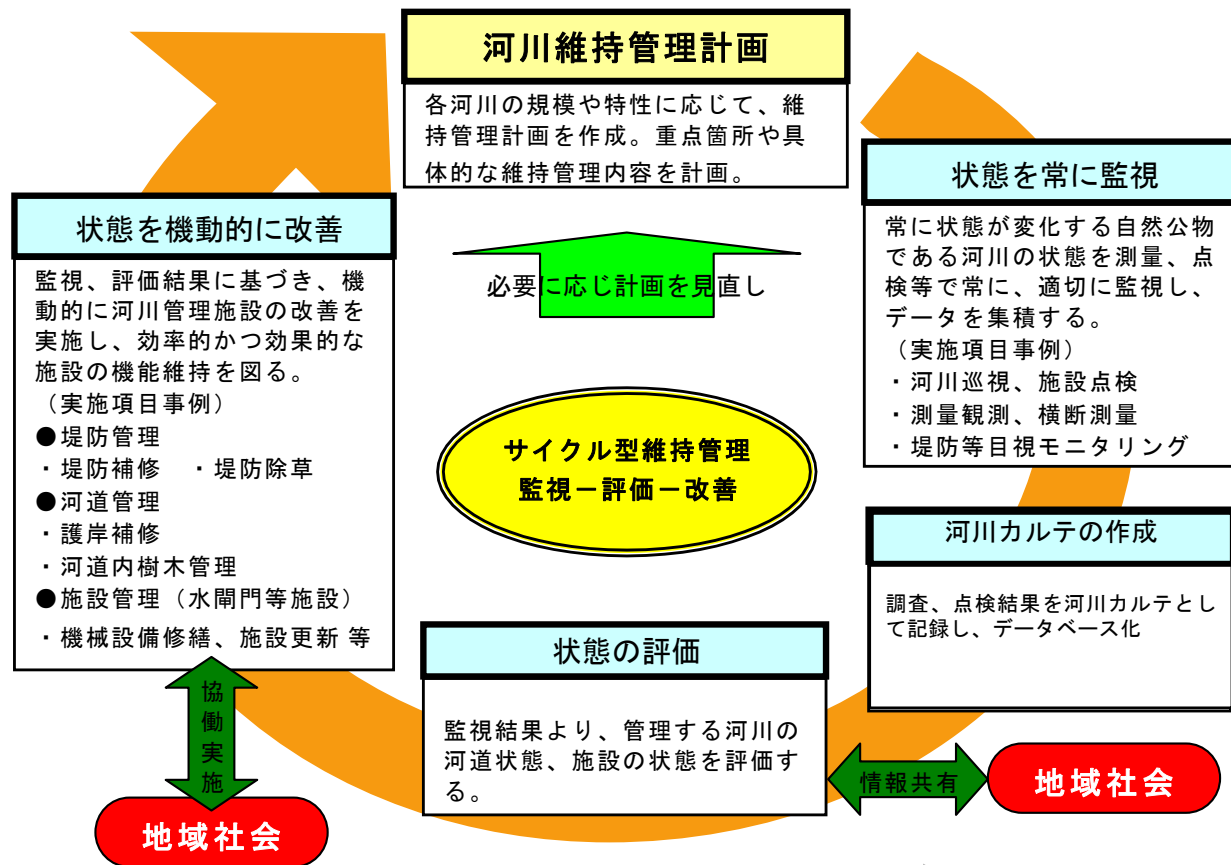


排水ポンプ車稼働状況

◆ 河川の維持の目的、種類及び施工の場所

維持管理の実施にあたっては、鳴瀬川の河川特性を踏まえ、河川管理上の重点箇所や実施内容など、具体的な維持管理の計画を作成するとともに、河川の状態変化の監視、状態の評価、評価結果に基づく改善を一連のサイクルとした「サイクル型維持管理」により効率的・効果的に実施します。

また、河川は常に変化する自然公物であるため、状態把握を確実に実施し、その結果を河川カルテとして記録・保存し、河川管理の基礎データとして活用します。



サイクル型維持管理のイメージ

維持管理にかかる計画の充実と実施体制の再構築【ハード対策】

◆日常の維持管理

- ・日常の維持管理をより計画的に実施するための体制を再構築
河川管理施設の老朽化対策を必要に応じて実施

<日常の維持管理項目>



堤防除草



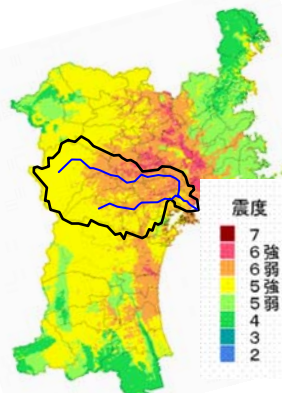
河川管理施設の点検



河川巡視

◆地震・津波対策

- ・河川管理施設の耐震性を調査し、必要に応じて対策を実施
- ・迅速かつ適切なゲート操作を実施するため、遠隔操作施設の整備を行う



予測震度分布図
<宮城県沖地震(単独)>

出典：「宮城県地震被害想定調査に関する報告書」（平成16年3月）宮城県防災会議地震対策等専門部会



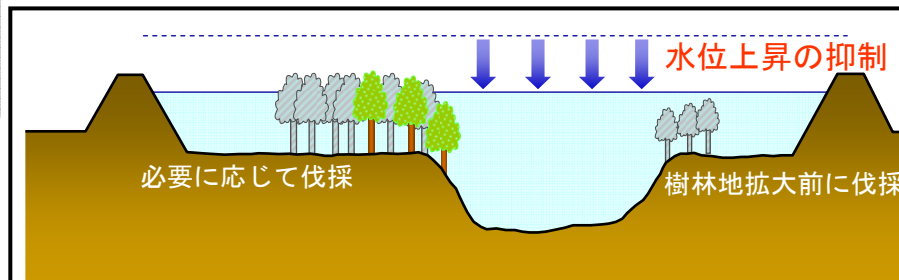
宮城県沖地震の津波対策

河道の維持管理【ハード対策】

◆流下阻害となっている樹木について、周辺環境に配慮しつつ伐採を実施するとともに、樹木群を適正に維持・管理する

- ・現地調査及び水理解析により流下阻害となる地区を抽出し、伐採・モニタリング等適正な管理を行う
- ・伐採にあたっては、特定種や鳥類の生息環境等に配慮するとともに、学識者等の意見も踏まえ実施する
- ・伐採方法は極力皆伐を避け、周辺環境に配慮した間伐を主体に行う

適切な管理を実施



- ・流下阻害にならないよう適正に管理し、樹木群の環境面の機能を考慮しつつ必要に応じて伐採を実施する

危機管理の観点から見た河川管理の充実【ソフト対策】

◆水防活動への支援強化

洪水・地震・事故等の発生を想定した訓練

地元自治体と連携して重要水防箇所点検や合同巡視を行うなど、協力体制を強化して対応する



水防訓練の実施



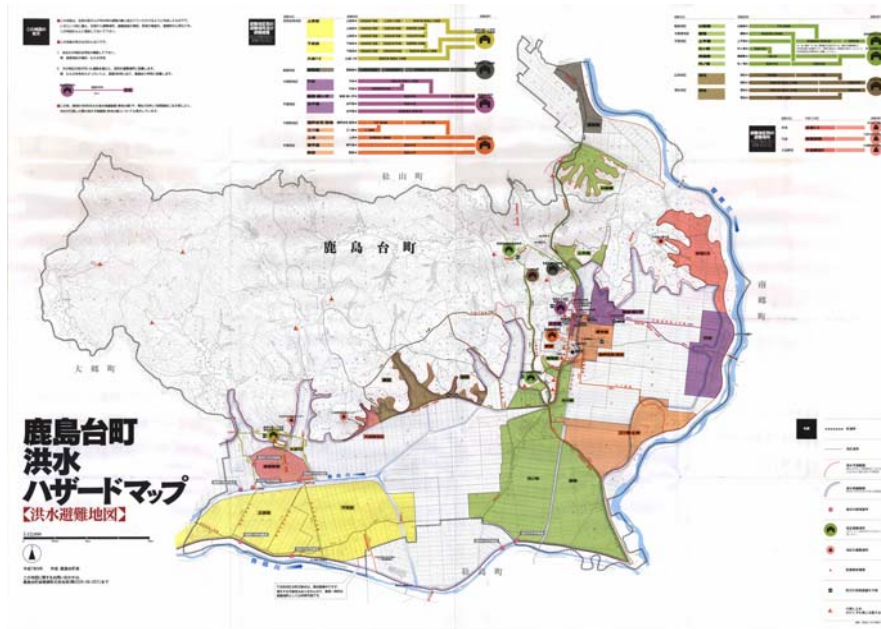
重要水防箇所の巡視



H15 宮城県北部地震被災
H17 危機管理演習（地震）実施
H18 危機管理演習（洪水）実施

◆自主防災意識の啓発

地域住民の自主防災意識向上に資する機会の提供に努めるとともに、市町村が実効性のあるハザードマップを作成するための支援を行う



ハザードマップ作成・普及への支援（大崎市鹿島台の例）

効果的・効率的な維持管理を実施するために必要な「維持管理基準」の設定

河川維持管理計画

河川ごとの3～5年間の維持管理の内容を定める

河川維持管理実施計画

年間の維持管理のスケジュールを具体的に定める

維持管理に関する具体的内容を策定する